

あかいろぼうしぐみ

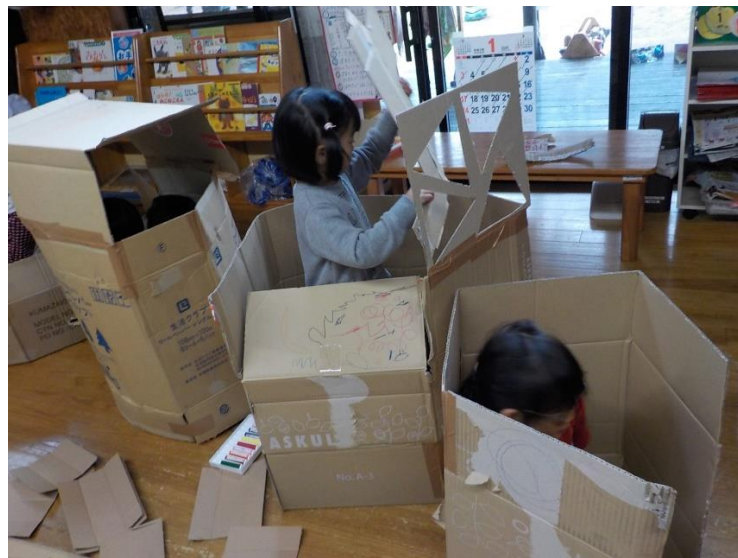
2021.02.25

お家を作ろう！

寒くて朝は少し元気がない様子の子もいたので、みんなで温まりながらあそべるように、こども達と一緒にダンボールを組み合わせてお家を作りました。

たくさんのダンボールを用意すると、「いっぱいある」「これお風呂みたい」「こっちは私のお家」と言いながらダンボールの中に入ってあそんでいました。

お家ができると、友だちと一緒に中に入って絵本を読んだり、段ボールやブロックで作ったご飯を持って来てあそんだりしていました。



どんなお家にしよう？
なんか変な形が
あったよ！
こっちは三角がいっぱい！



ご飯屋さん
です。
食べてくだ
さい。



最初は1人で入っているか、2人では入っているかのお家だったのですが、次第に「狭い」「私も入りたい」と言い合ったり、場所の取り合いになったりし始めたので、保育者が「みんなで入れるようなお家にしてみる？」と聞くと「大きいお家にする」「屋根もあるお家がいい」と言ってみんなでダンボールのお家を合体させて屋根も工夫して作りました。



屋根はどうやって作ろうかな？
ダンボールにしようかな？！
布ももっとつけたい！
こっちはテントみたい！
ここから入るんだよ！



お家が完成すると、中に入ってとても嬉しそうにあそんでいました。鬼のお面が出来上がったことも嬉しくて、「ここは鬼のお家だよ」と言って豆まきあそびが始まっている姿もありました。

窓を作ると「見て見て！〇〇はここにいるよ～」とにこにこしながらかくれんぼのように顔をのぞかせていました。1人が顔を出すと「次は△△の番だよ」と言って見る度に顔を出している子が変わっていて面白かったです。





ダンボールのお家は、骨組みに竹も使って丈夫に作りました。
それでも、お家ごっこから、「地震だよ」と言ってお家をゆらす遊びになり、段々とお家をたたいて遊んだりするようになり、3日過ぎる頃にはボロボロになっていました。

それでも、「また作ればいいよね」「今度はもっと大きくしたい」と話しているこども達でした。
工夫しながら作りかえていく経験、どのようにしたらより自分の目指すものになるか考えていく経験を今後も大切にしていきたいです。

ダンボールのお家が壊れそうになっていたので、部屋で竹のお家も作りました。保育者が組み立てていくと、「あ！三角だ！」「こっちは四角だね」と形に興味を持っていたこどもたちです。部屋の中では狭いので、園庭で続きを行うことになりました。置く場所をこども達と決めました。



布をつけると「テントみたい」とウキウキしながら靴を脱いで中に入る姿があったり、別の日は「キャンプしよう」と言って机や丸太、玩具をたくさん運んでみんなで料理を作ったりしていました。



キャンプごっこや竹のお家に満足すると近くの水たまりでのあそびが始まります。
「水入れてあげる」などと言いながら、海や湖を広げていくこども達。
お家のことよりも、落ちないように竹竿を使って橋を渡るあそびに夢中になっていました。
その後、みんなで作ったお家は、かぜぐみやそらぐみのお友だちが中であそんでくれていました。

